

ドキュメンタリー映画

「めぐみ」上映会

— 引き裂かれた家族の30年 —



入場無料

要申込

定員 300名(先着)
(12月15日締切)

この映画は、13歳で北朝鮮に拉致された横田めぐみさんを取り戻すため、ご家族の懸命の救出活動などを描いたヒューマン・ドキュメンタリー映画です。

(2006年制作 アメリカ映画、約90分)

是非ご覧いただき、拉致問題について一緒にお考えください。

※2020年制作の映画「めぐみへの誓い」とは異なりますのでご注意ください

日時

令和5年12月16日(土) 14時~16時

(開場 13時)

申込期限: 12月15日(金)

会場

東区プラザ ホール

(新潟市東区下木戸1-4-1
東区役所2階)

プログラム

- 開会あいさつ
- 政府の取組説明
(内閣官房拉致問題対策本部事務局)
- 映画「めぐみ」(90分)上映

参加を希望される方は、裏面に記載の方法により
新潟市危機管理防災局防災課までお申し込みください。

- 主催 政府拉致問題対策本部、新潟県、新潟市
- お問合せ先 新潟県国際課拉致問題調整室 TEL: 025-280-5876
新潟市危機管理防災局防災課 TEL: 025-226-1143

■お申し込み方法

映画「めぐみ」上映会への参加をご希望される方は、次の方法で [新潟市防災課まで](#) お申し込みください。

(1) 電子メール (送信先 : bosai@city.niigata.lg.jp)

メール件名に「映画めぐみ上映会」と記載のうえ、メール本文に次の事項を記載願います。

① 申込者氏名(代表者)、② 参加人数(申込者を含む)、③ 申込者(代表者)の電話番号

(2) 電話 025-226-1143

申込期限：令和5年12月15日(金)

- 申込みされましたら、当日会場へ直接お越しください。
- お申込時に記載いただきました個人情報は適切に管理し、その他の目的での利用はしません。

■映画 めぐみ — 引き裂かれた家族の30年 — ストーリー

1977年11月15日朝、いつものように学校へ出かけた、当時13歳、中学1年生の女の子が、夕方、学校からの帰宅途中で突然姿を消しました。

横田さんご一家の平和だった日々は、その瞬間から一変し、あらゆる事態を想像しながら、無事を祈り、帰ってこない娘めぐみさんを捜し続けることになりました。その実態が〈北朝鮮による拉致事件〉という途方もないものとは思えないで・・・。

それから30年。怒りや悲しみに包まれながらも、めぐみさんのご両親はめぐみさんの生存を信じ、めぐみさんを取り戻すための果てしない闘いの日々が続いているのです。

その凛々しくも強く懸命な姿は多くの人々の共感を呼び、日本政府だけでなく、多くの国を動かすまでになりました。この映画では、その様子が克明に描かれています。(政府拉致問題対策本部HPより)

拉致問題の一刻も早い解決を！ ～私たちにできること～

拉致問題の解決には国民世論の高まりが必要です。また、拉致被害者ご本人とご家族にとって、私たち県民一人ひとりの声が大きき力になり、また大きな心の支えになりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

1 拉致問題へのご理解

県民のみなさまに拉致問題について理解し、関心を持ち続けていただけるよう、新潟県では市町村や北朝鮮による拉致問題に関する新潟県市町村長の会と連携しながら、県民集会、パネル展や映画上映会などの啓発活動を行っていますので、ぜひご参加ください。

- 新潟県ホームページ <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/rachi/>
- 新潟県拉致問題公式X (旧 Twitter) [niigata_rachi](#)



東区役所でのパネル展(R4.5月)

2 署名へのご協力

新潟県庁西回廊及び各地域振興局に署名用紙を配置していますので、お立ち寄りの際はご協力をお願いします。

ブルーリボンは拉致被害者の救出を求める国民運動のシンボルです。

<パネル展のご案内>

- 12月5日(火)～20日(水) クロスパルにいがた (新潟市中央区礎町通)
- 12月16日(土)、17日(日) 新潟日報メディアシップ (新潟市中央区万代) <北朝鮮人権侵害問題啓発週間 特別展>